

山形県産和牛の品質の高さ（令和6年度の情報）

1. 県内肉用牛飼養頭数

合計	内訳									
	繁殖 雌牛	小計	和牛肥育		F1（黒毛×ホル）			ホルスタイン		
			めす	去勢	小計	めす	去勢	小計	めす	去勢
43,200	8,290	33,080	24,740 (74.8%)	8,340 (25.2%)	1,720	760	960	110	0	110

山形県の和牛肥育の性別割合は、「めす」が約75%を占めている。

※出典 畜産統計（令和6年2月1日現在）

2. 和牛枝肉格付成績（めす）

都道府県	格付 頭数 (頭)	順位	内訳							
			4・5等級（上物）				5等級			
			頭数 (頭)	順位	割合	順位	頭数 (頭)	順位	割合 (上物率)	順位
鹿児島	43,080	1	31,263	1	73%	26	19,261	1	45%	27
宮崎	25,046	2	15,560	2	62%	39	9,913	2	40%	34
三重	11,786	5	11,456	4	97%	1	9,892	3	84%	1
山形	13,194	4	11,439	5	87%	10	8,803	4	67%	9
北海道	17,713	3	12,155	3	69%	31	7,445	5	42%	30
全国	246,473		180,307		73%		120,706		49%	

山形県は、和牛めすにおいて、5等級のみの頭数が全国4位、4・5等級（上物）の頭数が全国5位となっている。

※出典：「牛枝肉格付情報 格付等級別頭数集計表（令和6年4月～令和7年3月）」（公益社団法人日本食肉格付協会編）
※格付頭数は歩留等級A、B、Cの合計

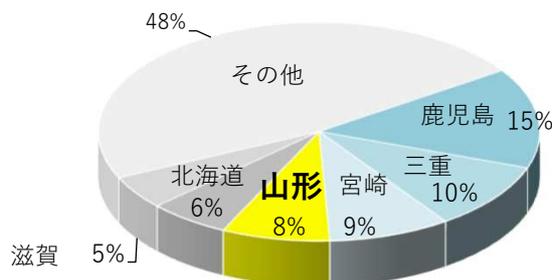
3. BMS上位の頭数及び頭数割合（めす）

BMS No.		鹿児島	三重	宮崎	山形	北海道	滋賀	全国
No12	頭数(頭)	3,377	3,221	2,260	1,913	1,036	1,559	24,039
	調査頭数に占める割合	7.9%	27.4%	9.1%	14.5%	6.0%	22.1%	9.9%
No11	頭数(頭)	3,630	2,080	1,836	1,715	1,373	965	22,179
	調査頭数に占める割合	8.5%	17.7%	7.4%	13.0%	7.9%	13.7%	9.1%
No10	頭数(頭)	3,930	1,836	2,197	1,913	1,792	1,191	25,918
	調査頭数に占める割合	9.2%	15.6%	8.8%	14.5%	10.4%	16.9%	10.7%
No.10～12 計	頭数順位	1	2	3	4	5	6	
	頭数(頭)	10,937	7,137	6,293	5,541	4,201	3,715	72,136
	調査頭数に占める割合	25.5%	60.6%	25.3%	42.1%	24.3%	52.6%	29.7%

山形県は、和牛めすにおいてBMS上位（No10,11,12）の頭数割合が高いことが特徴

（山形県：42%、全国：30%）

※出典：「牛枝肉格付情報 脂肪交雑基準別・歩留肉質測定項目別集計表（令和6年4月～令和7年3月）」（公益社団法人日本食肉格付協会編）

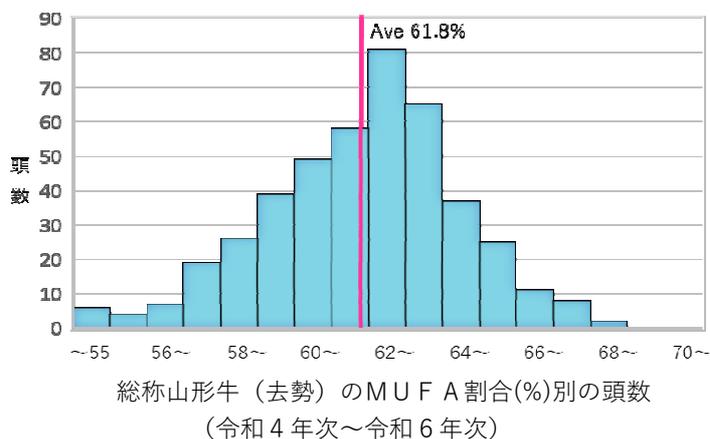
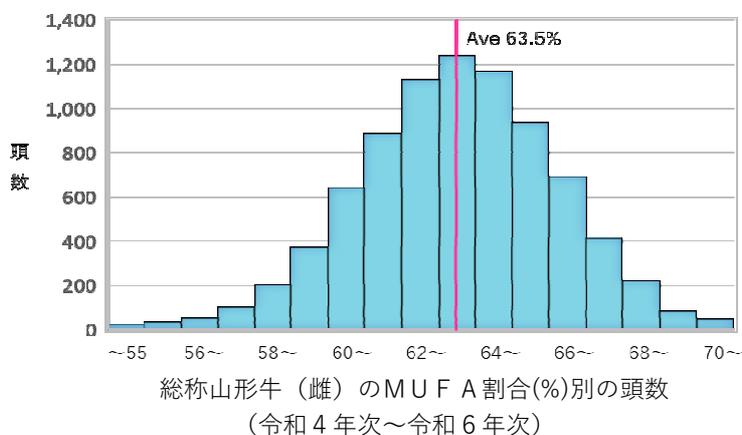


和牛めすにおいて、BMS上位の頭数割合は、山形県が全国で4番目に多く、全国の約8%を占めている。

（全国 72,136頭、うち山形県 5,541頭）

4. 牛肉の脂肪の質について

オレイン酸を含むMUFA（一価不飽和脂肪酸）が多い牛肉の脂肪は低い温度で溶けるため、口溶けがいいとされている。



令和4～6年次に分析された総称山形牛の雌(8,250頭)のMUFA割合の平均値は、63.5%となっている。
MUFA割合の平均値57.6%※以上であったのは、全体の約98%（8,093頭）となっている。

また、令和4～6年次に分析された総称山形牛の去勢(437頭)のMUFA割合の平均値は、61.8%となっている。
MUFA割合の平均値57.6%※以上であったのは、全体の約94%（409頭）となっている。

総称山形牛は、雌・去勢とも長期肥育が多いという特徴があり、MUFA割合が高く脂肪の質に優れている要因となっている。

※第12回全国和牛能力共進会の第7区（脂肪の質評価群）におけるMUFA割合の平均値57.6%。